

市議会だより

第72号

2022(令和4)年
2月10日発行



(サングリーン内 正月の花)【1月7日撮影】

令和3年12月定例会終わる

- 市議会に関するアンケート結果…………… 2
- 高校生との意見交換会…………… 3
- こんなことが決まりました…………… 4
- 委員会審査…………… 6
- 市政を問う（一般質問）…………… 7



「マチイロ」アプリでスマホからも
議会だよりをご覧いただけます。



iOS



Android

三次市議会のホームページもご覧ください。

<http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp>

議会中継の録画や過去の議会だよりも掲載しています。

三次市議会

検索



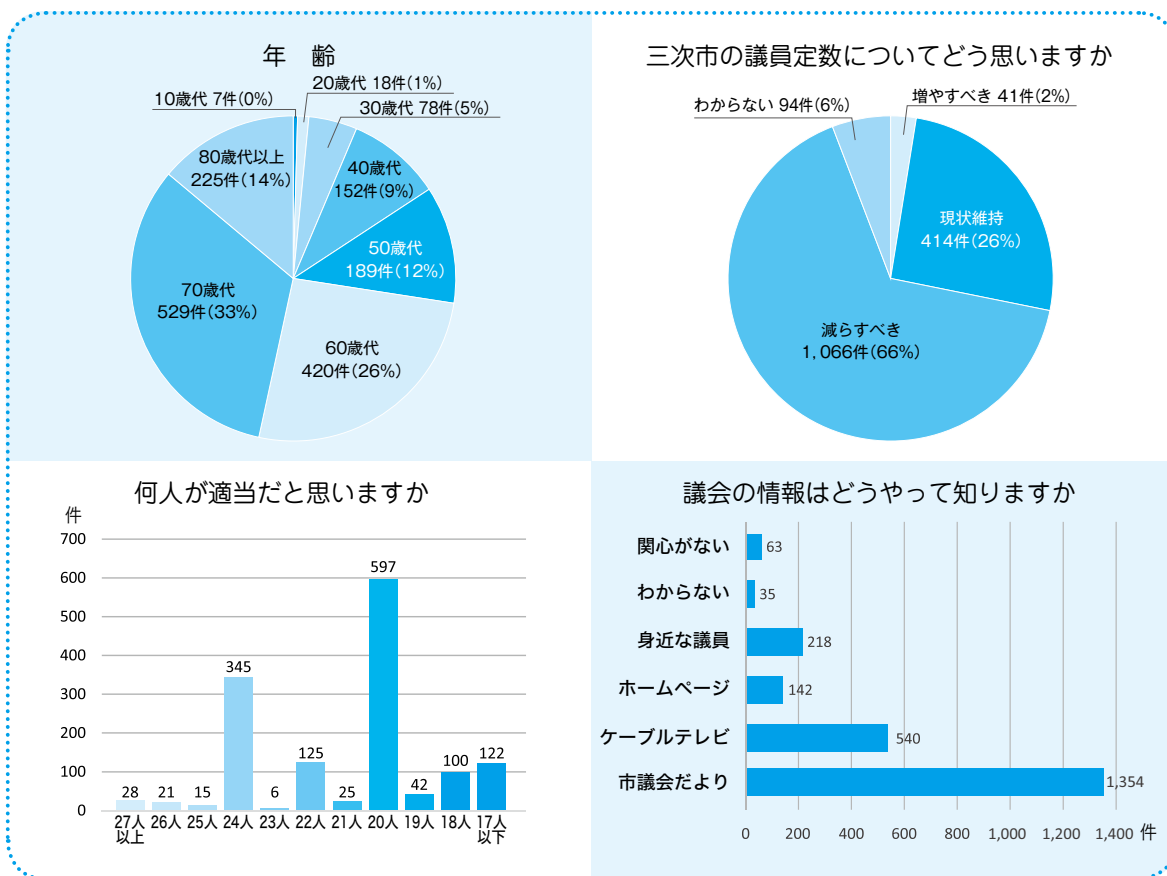
市議会に関するアンケート結果 (議員定数等調査特別委員会 中間報告)

※三次市議会では、議員定数等調査特別委員会を設置して、議員定数の在り方について検討しています。

令和3年12月定例会最終日に議員定数等調査特別委員会から中間報告がありました。調査の参考とするためにアンケートを実施しました。このページではその結果の一部を紹介します。中間報告の詳しい内容については、委員会審査報告(6頁掲載)やホームページをご覧ください。

- 実施期間 令和3年10月10日(日)～10月31日(日)
- 実施方法
 - ①「広報みよし」にアンケート票を折り込み(全世帯)
 - ②三次市電子申請システムによる(web)
 - ③住民自治組織(コミュニティセンター等)でのアンケート配布及び受付
- 回答結果 回答数 1,623件(内訳 ハガキ 1,171通、web 452件)

委員長報告の
全文はこちら



市議会や議員へのメッセージ欄にはたくさんの様々なご意見を頂きました。このことを真摯に受け止め、引き続き努力を重ねていかなければならないと議員全体で共有しています。本当に、たくさんのご意見ありがとうございました。

なお、全てのご意見は紙面の関係もあり、市議会のホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

アンケート結果等
中間報告はこちら



高校生との意見交換会

市議会では、三次市議会基本条例第7条の規定に基づき、議会報告・懇談会を実施しています。昨年度に引き続き、感染症拡大防止のため、対策について協議した上で議会懇談会の「出張型」のみ実施しています。今回も、高校生の主権者教育の一環として、意見交換会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で大変な中、学校関係者の皆さまにはご対応いただきありがとうございました。
高校生と意見を交換することは、新しい発見が多く、非常に参考になります。生徒のみなさんには、引き続き政治に、議会に関心を持っていただき、我々は高校生から出た意見を少しでも参考にし、また実現できるような今後の議員活動に活かしていきたいと思えます。

日彰館高等学校

11月15日(月)

3年生のみなさんと意見交換を行いました。生徒からの事前質問を基に、少人数でグループワークをしました。自分も政治に参加できると実感してもらえよう、政治・政策から幅広く意見交換を行いました。



生徒の感想

議員の話はどうでしたか？

三次市が今どんな問題を抱えているのか、その問題に対して、対策は行われているのか具体的な対策内容が分かった。

これから議会や議員に期待することはありますか
市民が町に貢献しているということが実感できるような取り組みがあってほしいと思う。

全体の感想を教えてください

今まで知らなかったことを聞くことができてよかった。これからは政治にもっと関心をもって知ることができるようにしていきたいと思った。



議員の感想

- 問題意識を持って質問をしてくれたことは、大変嬉しく思いました。
- 私の知らない事もあり、勉強になりました。高校生にとっても、より楽しい三次になるように、本日の意見を大切に、頑張ります。

まとめ

事前質問の質が高く、さすが3年生です。市全体のことや地域に感心のある生徒さんも多くいました。今後も政治に関心を持ち続けてください。



三次高等学校

11月29日(月)

1年生と意見交換を行いました。2月の「三高アクションプラン」完成に向けて企画書案を各グループで報告してくれました。それを踏まえてからグループトークを行いました。



生徒の感想

議員の話はどうでしたか？

自分たちと一緒に考えて、提案を出して下さって分かりやすかった。

これから議会や議員に期待することはありますか
私たちがアクションプランを実行するときに、お手伝いをしていただけたら心強いです。

全体の感想を教えてください

三次市をよりよくするための目標だけでなく、まずは自分たちにできることが大切だと分かりました。



議員の感想

- 意欲的な学習姿勢を感じることができ話も弾みました。来年9月が企画のゴールということも理解したので、どのような形で結実するかが楽しみです。
- 高校生の意見や着目していることに触れることができて良かった。市議会の活動であったり、議会の役割などが高校生に浸透していないことが分かった。

まとめ

企画書案もまだまだ改良の余地があると思います。地域のことや政治のこと等たくさんの情報を吸収して三次市のためにいいアイデアを出していきましょう！



りました

12月定例会を12月3日(金)から12月17日(金)まで開催し、報告1件、議案22件及び意見書3件を原案のとおり可決しました。

一部改正された条例

■三次市定住促進住宅管理条例の一部を改正する条例
全員一致

■三次市国民健康保険条例の一部を改正する条例
全員一致

■三次市手数料徴収条例の一部を改正する条例
全員一致

■三次市国民健康保険条例の一部を改正する条例
全員一致

■三次市特別養護老人ホーム設置及び管理条例の一部を改正する条例
全員一致

■三次市保育所設置条例の一部を改正する条例
PICK UP
全員一致

■三次市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
全員一致

■三次市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
全員一致

■三次市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
全員一致

■三次市ハイツカ湖畔の森設置及び管理条例の一部を改正する条例
PICK UP
全員一致

■三次市特定地域生活排水処理施設設置及び管理条例等の一部を改正する条例
全員一致

■三次市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
全員一致

その他の議案

■専決処分報告について(訴えの提起について)
全員一致

■三次市公益通報審査会委員の委嘱の同意を求めることについて
PICK UP
全員一致

意見書

■「国の責任による30人以下学級をめざした少人数学級のさらなる前進」を求める意見書
全員一致

■中華人民共和国による人権侵害問題の解決を促し、日本政府に必要な措置を講ずることを求める意見書
全員一致

■コロナ禍における米価下落対策を求める意見書
全員一致

PICK UP

●三次市保育所設置条例の一部を改正する条例

安田保育所を廃止するため、関係条例を一部改正するもの。条例から安田保育所の名称及び位置を削除するもの。

●三次市ハイツカ湖畔の森設置及び管理条例の一部を改正する条例

三次市ハイツカ湖畔の森キャンプ場等を整備することに伴い、関係条例を一部改正するもの。新たに設置する施設を加え、廃止する施設を削除するとともに、当該施設の繁忙期と閑散期の利用料金に幅を持たせ、指定管理者が柔軟に利用料金を設定できるよう、上限額を定めるもの。

●三次市公益通報審査会委員の委嘱の同意を求めることについて

前田 剛志(十日市南)(任期は令和3年12月21日から2年間)

詳しい議案の内容についてはこちら



追加議案はこちら



意見書についてはこちら



こんなことが決ま

令和3年度 一般会計予算の補正(第9号)

補正額 3億8,280万円追加

総額 402億7,778万3千円

◆子育て世帯への臨時特別給付金 3億8,280万円

令和3年度 一般会計予算の補正(第11号)

補正額 3億7,637万円追加

総額 414億4,972万9千円

◆子育て世帯への臨時特別給付金 3億7,637万円

◆印は新型コロナウイルス感染症対応分

補正予算の概要はこちら
12月補正予算をご覧ください



令和3年度 一般会計予算の補正(第10号)

補正額 7億9,557万6千円追加

総額 410億7,335万9千円

■主な使い道

- ・障害者自立支援事業 2億2,424万8千円
- ◆新型コロナウイルスワクチン接種事業 1億7,879万6千円
- ・現年災害公共土木復旧事業 1億100万円
- ・現年災害単独土木復旧事業 5,900万円
- ・現年災害その他公共・公用施設復旧事業 2,000万円
- ・ケーブルテレビ設備改修事業 1,600万円
- ・障害児保育事業補助金 1,584万4千円
- ・消防団装備品強化事業 1,567万5千円
- ・備北地区消防組合負担金 ▲2,850万8千円
- ・職員人件費(一般職) ▲1億2,177万3千円

《繰越明許費》

- ・追加 公共施設改修・解体事業ほか 17件

《債務負担行為》

- ・追加 共同調達消耗品購入費ほか 4件
- ・変更 市議会だより制作業務

《地方債》

- ・追加 排水路新設改良事業
- ・変更 地域情報化推進事業ほか 7件

(▲は減額)

令和3年度 特別会計・企業会計予算の補正

会計名	補正額	
国民健康保険特別会計	44万7千円	
診療所特別会計	160万円	
介護保険特別会計	同額増減補正 0円	
病院事業会計	業務の予定量(資産購入, 施設整備)	4,500万円
	資本的収入(企業債, 負担金)	4,500万円
	資本的支出(建設改良費)	4,500万円
	企業債の限度額(資産購入)	2,500万円
	企業債の限度額(施設整備)	▲1,350万円
水道事業会計	資本的収入(企業債)	▲3,530万円
	資本的収入(補償金及び負担金)	3,530万円
	企業債の限度額	▲3,530万円
下水道事業会計	業務の予定量	678万1千円
	収益的収入(下水道事業収益)	▲868万1千円
	収益的支出(下水道事業費用)	▲868万1千円
	資本的収入(企業債)	▲17,820万円
	資本的収入(他会計負担金)	17,820万円
	資本的支出(建設改良費)	678万1千円
	資本的支出(企業債償還金)	▲500万円
	企業債の限度額	▲17,820万円
	職員給与費	160万円
	他会計からの補助金	▲868万1千円

予算審議

定例会で、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案7件について、12月15日に委員会を開催しました。

【付託議案】

議案第111号「令和3年度三次市一般会計補正予算(第9号)(案)」外6議案

【審査結果】

全員一致をもって原案のとおり可決



予算決算常任委員長報告



委員会審査

各常任委員長報告

定例会で、各常任委員会に審査付託となった議案等について、12月9日～13日に各委員会を開催しました。

産業建設常任委員会 12月9日開催

【付託議案】

議案第109号 「三次市ハイヅカ湖畔の森設置及び管理条例の一部を改正する条例（案）」ほか1議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【所管事務調査】

・広島県水道企業団設立に向けた検討状況について



産業建設常任委員会で執行部に質疑を行う

総務常任委員会 12月10日開催

【付託議案】

議案第100号 「三次市定住促進住宅管理条例の一部を改正する条例（案）」ほか1議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【所管事務調査】

・三次市避難行動要支援者名簿に関するこれまでの取組等について
・三次市消防団の処遇改善等について



執行部の説明を聞く総務常任委員

教育民生常任委員会 12月13日開催

【付託議案】

議案第101号 「三次市国民健康保険条例の一部を改正する条例（案）」ほか7議案

【審査結果】

議案第108号賛成多数をもって原案のとおり可決

議案第108号以外いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する指摘及び意見】

議案第108号 「三次市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例（案）」は、委員の任用にかかる準備等、学校運営協議会制度の運営に必要な手続きを

計画的に進め、着実な事業の推進に努められたい。

【所管事務調査】

・障害者支援センターについて



教育民生常任委員会での採決の様子

議員定数等調査特別委員会中間報告要旨 12月17日報告

これまでの議会改革推進特別委員会からの報告をベースに、新たに調査した類似団体の議員定数等やアンケート、各委員の想いや会派の意見から、委員会協議の「方向性」が見えてきた。

委員会の議論では、少数意見として、「広大な地域がある中で、地域の声を吸い上げ、市政に届けるためには多くの窓口があったほうが良い。」議員定数を削減すれば、有権者の多い市の中心部に議員が偏る危険性が考えられる。」と現状の議員数を維持すべきとする意見がある。一方、多数意見は、類似団体の議会が議員数を減じてきていること、市政の硬直化等の課題、また、市民アンケートの結果等から、「議員定数を減ずるべき」としている。

この二つの意見を基に、様々な経緯と照らし合わせ委員間の討議を重ねたう



特別委員会中間報告の様子

各委員長報告の全文はこちら



委員会中継実施中



定例会では、1日1常任委員会のケーブルテレビ中継を実施しています。ぜひご覧ください。

※インターネット配信及び再放送は行っていません。



市政を問う



12月定例会では、13人が市政をたどしました。質問と答弁の一部を紹介します。

また、ホームページでは**一般質問の日程や質問内容の一覧も公開しています**。議会終了後には会議録や本会議の録画映像もご覧いただけます。

詳細はこちらにアクセス

三次市議会

検索

一般質問一覧



会議録



1	重信 好範 (市民の声)	8	齊木 亨 (真正会)
2	伊藤 芳則 (日本共産党)	9	竹原 孝剛 (会派 未来)
3	藤井憲一郎 (ともえ)	10	新田 真一 (会派 未来)
4	小田 伸次 (ともえ)	11	保実 治 (清友会)
5	藤岡 一弘 (明日への風)	12	山村恵美子 (清友会)
6	掛田 勝彦 (明日への風)	13	黒木 靖治 (公明党)
7	横光 春市 (真正会)		

幅広い行政サービスを行い、様々な要望や意見に対応していくには、職員に求められる資質、能力の向上はますます重要なものになってきていると考え、市民目線に立ち、丁寧で公正かつ確な行政サービスの提供に努めるよう、これまで取り組んできた。引き続き職員の指導をしていく。

細美総務部長

答弁1

市民目線に立ち、丁寧で公正かつ確な行政サービスの提供に努める

市民生活の多様化に伴い、従来の考え方には対応できない状況が見受けられる。各施設の維持管理や災害、鳥獣被害等市民からの要望や意見に公正、的確に対応しなければならぬ。市民目線の行政サービスをどう考えているのか。

質問1

市民目線の行政サービスを



しげのぶ よしのり
重信 好範

市民の声

動画



第7回女子硬式野球西日本大会の様子
(三和総合運動公園野球場)

課題は、宿泊施設の絶対数の不足である。来年に向けて可能な限り市内で宿泊を促していただける仕組みを関係機関等と検討していきたい。

監督や選手を含めると、延べ約2,000人以上の方が来場された。市内各施設を利用されたことで経済効果があったと考えている。YouTube配信し、広島東洋カープ所属の浅井さんの解説により女子野球に興味を持っていただけたこと、また、観戦や運営に携わることによって選手自身の目標にもつながったと思っている。さらに、マスコミに取り上げられたことで、本市の取組を周知することができた。

中原地域振興部長

答弁2

経済的効果はあった。課題は宿泊施設の不足である

昨年11月女子野球タウン認定後初めて、第7回女子硬式野球西日本大会がぎんさいスタジアムをメイン会場に市内5球場で開催された。県内外から多くの選手や関係者が来られた。女子野球タウン認定後の効果や課題を伺う。

質問2

女子野球タウン認定後の効果や課題は





質問1 米価下落で所得は減少している。米農家への助成が必要ではないか

米農家は、需要減とコロナ禍の影響で米価は下落し収入は減少している。さらに高齢化と担い手不足で耕作放棄地は増加している。米農家を守るための最大の対策は米の価格保障だ。市独自に価格保障への助成が必要ではないか。



田植えの様子

答弁1 市としては、米価の下落に対する独自の補助は考えていない

中廣産業振興部長

米価下落に対する独自の補助は考えていないが、需要に応じた主食用米の生産を確保した上で、飼料用稲などの非主食用米や収益性の高い園芸作物等への作付を推進し、国の水田活用

の直接支払交付金等の活用により、経営の安定につなげていただきたいと考えている。

質問2 保育所の統廃合は保護者や地域住民との合意が必要ではないか

保育所・小学校は地域の宝ものだ。過疎化による保育所児童が減少し、「規模適正化基準」を満たさないため統廃合すると、さらに過疎を進めることになる。児童数を基準にした統廃合は、保護者や地元住民との合意が必要ではないか。

答弁2 子ども同士が主体的に学ぶ環境にない保育所の存続は適切ではない

松長子育て支援部長

各保育所では、地域の皆様の協力、地域の農家等との交流を通して保育所で育てていく大事な力である人と関わる力を養っている。しかし、あまりにも人数が少ない状況の保育所では、子ども同士が主体的に学んでいこうという環境にはない。国の保育所保育指針で示されている子ども相互の関係や協同的な活動が促されるように配慮することは難しいと判断する。

最後の1人まで保育所を存続すべきという意見は、子どもの発達の視点や集団での育ちの保障から考えて、保育所で子どもが幼児期にふさわしい生活や遊びを積み重ねることで、育みたい資質、能力というのを就学までにつけていくことが困難となるため適切ではないと考える。



質問1 三次市を女子野球の聖地に

昨年11月、三次きんさいスタジアムをメイン会場にして「第7回女子硬式野球西日本大会」が開催され、27チーム約600名の選手や関係者に来訪いただいた。「女子野球タウン」として飛躍するには、次回大会も三次市へ誘致するべきではないか。

答弁1 取組を進めたいと考えている

中原地域振興部長

本市としては、施設を活用した取組を中心に女子野球を盛り上げていきたいと考えている。西日本大会や合同合宿等を引き続き開催していけるよう実行委員会の中で協議をしている。

今後も、スポーツを見るだけでなく、スポーツを見て、やって支えるといった仕組みを追求するべく、取組を進めたいと考えている。

福岡市長



第7回女子硬式野球西日本大会記念Tシャツ

質問2 高齢者福祉の方向性は

民間事業者が充実する中で、高齢者福祉サービスに関わる三次市社会福祉協議会のサービスや位置づけを再考する時期になっているのではないかと。

答弁2 社会福祉協議会の体制や事業について協議していく

牧原福祉保健部長

介護保険制度が創設された当初、民間の介護サービス事業所が無い地域において社会福祉協議会が介護サービス事業を担ってきた経緯があるが、20年以上が経過し民間事業所が充実したことによりすみわけが必要になっていく。

そのような状況や市の公共施設総合管理計画により、社会福祉協議会の体制整備や事業について協議し、社会福祉協議会が運営する介護施設等の民間事業者への譲渡を進めている。





質問1 市立三次中央病院の建替え計画は

市立三次中央病院の建替え計画は現在どのようになっているのか伺う。計画を進めていく中で様々な立場の人の意見を聞き、組織でしっかりと検討する必要があると考えるが、対応はどう考えているのか。また、新病院の病床数や診療科目の新設、ダビンチ（ロボット手術）などのハイブリットオペ室の設置などで、住民に高度な医療を提供する考えはないか。さらに、多くの利用者のためにも院内（敷地内）には飲食スペースが必要と考えるが、どうお考えか伺う。

答弁1 令和3年度から4年度で策定するよう準備している

片岡市民病院部事務部長
基本構想、基本計画は、令和3年度から令和4年度で策定するように準備している。

若手職員を中心に新病院建設のワーキングを早く立ち上げ意見の集約を図っていききたい。一番大切な患者の声は、毎年実施している患者満足度調査



三次中央病院の建替え計画は

で、施設に対する要望や問題点、入院については、個人情報保護等の細かい質問項目を設けている。このように意見を集約して計画、今後の運用について十分に声を反映させていきたい。
新病院の設備は、新たにどのような診療に取り組むのか、方向性に沿ったものになると考えている。高度医療機器は非常に高額なので、地域に必要な医療、医師確保、病院経営のバランスを十分に検討する必要があると考えている。
コロナ禍において、同じ業態のレストランを入れることは難しいと考えているが、食事の取れるスペースをめざし、改装工事の準備をしている。



質問1 米価下落に対する福岡市長の所感を伺う

令和3年度の三次地域の米の買い取り価格は、昨年に引き続き下落した。米価下落により、農家の方々を取り巻く状況は、より悪化している。このような、令和3年度の米価下落の状況をどのように考えられているのか、福岡市長の所感を伺う。



農家を取り巻く状況はより悪化している

答弁1 中山間地域における持続可能な農業をめざしたい

福岡市長
農業振興プランに基づいて、JA等との関係機関と連携し、需給バランスに応じた米の生産、販路の拡大、契約栽培や米以外の多品目導入による複合経営によるリスク分散を図るなど、経営の安定化に向けた支援を行うとともに

に、スマート農業など新たな経営手法も取り入れながら、中山間地域における持続可能な農業をめざしたいと考えている。

質問2 2020東京オリンピック・パラリンピックへの取組の成果と課題はどうか

東京オリンピック・パラリンピック開催にあたり、聖火リレーや事前合宿受け入れなど様々な行事に取り組んできた。新型コロナウイルスの影響により、中止になった行事もあるが、三次市の取組の成果と課題を問う。

答弁2 通常であれば万全の態勢で受け入れ、さらなる交流も深まったものと考えている

中原地域振興部長
市内の小・中学生を対象に、メキシコ選手に折り鶴と手紙を届けるプロジェクトに参加し、県立三次中学校では授業の一環として取り組んでいた。手紙コンクールでは、児童生徒各1名がアイデア賞も受賞した。また、過去2回メキシコ陸上選手団の合宿を受け入れ、民間企業とも連携して成功させており、メキシコ側との信頼関係も構築されている。残念ながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、陸上、野球とも事前合宿の実現が叶わなかったが、通常であれば万全の態勢で受け入れ、さらに交流も深まったと考えている。課題は、築いてきた信頼関係を継続し、今後、どのようにメキシコとの交流を継続するのかということである。





公共交通を守りきれぬのか

質問1

持続可能な地域公共交通を問う

本市が一般財源をどれだけ地域公共交通に支出することができぬのか。一般財源全体という観点から検討しなければならぬと思うが、今のままで市民バス等を含め地域の公共交通を守りきれぬのか。財政的にどうみているのかを伺う。



答弁1

持続可能な事業実施の検討が必要だと考えている

細美総務部長

地域公共交通に限らず、必要な行政サービスは財源の確保をした上で、事業を推進していくべきと考えている。ただし、費用対効果や受益者負担とのバランスも一方では大切になってくるので、効率的な事業執行の工夫は必要だ。今後は、収支率や利用率など、事業の必要性も検証しながら、各地域で協議し、地域に適したサービス形態や、持続可能な事業実施の検討が必要だと考えている。

質問2

消防団員の処遇改善を問う

平成の大合併から20年近くになろうとしている。時期的にも実態調査を行うなど制度の運用や見直しが必要だと思う。団員の処遇を改善することで団員の意欲の向上に努める必要性を感じているが、改善や見直しについて本市の考えを伺う。

答弁2

処遇改善は来年度からの予定である

川村危機管理監

消防団員の処遇改善は、来年度から年報酬及び出勤手当を完全個人支給する予定だ。さらに火災出動に係る手当も、他の手当と同様に支給する方向で検討したい。

年度別不用額調

年度	不用額
平成29年度	18億5,959万円
平成30年度	24億8,914万円
令和元年度	29億5,267万円
令和2年度	18億7,047万円

質問1

予算管理はできているのか

歳入歳出決算認定に係る事業別審査シートを見ると、一般会計で300万円以上の不用額が101件あり、不用額の総額は18億円である。各担当部局において、事業と予算の執行状況を確認し、不用額の見込みを減額補正して、市民要望に応えるべきと考えるが所見を伺う。



答弁1

適切な予算編成を行うよう指示している

細美総務部長

多額の不用額が出ることは好ましいことではない。各担当部署に対しては、予算管理だけでなく、予算編成の段階からこれまでの不用額の分析を行うこととともに、決算を意識して予算編成して要求するよう指示している。財政担当課でも、予算編成時には多額の不用額が出ないよう事業費を十分精査し、適切な予算編成を行っていく。

質問2

財政調整基金に積立すべきではないか

平成27年度末に41億円あった財政調整基金は28億円にまで減少しており、財政運営において余裕がない。長期財政運営計画では、目的のある基金に積立の計画である。財政調整基金に積立、災害対応等突発的な財政出動に備えるべきではないか。

答弁2

積めるときにはしっかりと積立てていきたい

細美総務部長

今年度から数年間は歳入が確保できる限り、しっかりと財政調整基金を積立て、財政収支が悪くなる令和8年度以降の取り崩しに備えていくというのが今回の長期財政運営計画の考えだ。ご指摘のとおり積立てができてきたときにはしっかりと積立てていきたいと考えている。





質問1
アフターコロナの経済対策は

全国的に新型コロナウイルス感染者が減少してきた中で、オミクロン株が新たに検出されているが、ブースター接種も始まり、基本的な予防対策で感染を十分防ぐことができると思われる。収束を見据えたウィズコロナの経済活性化に向けた本市の持続的な事業は何か考えがあるか。

答弁1
効果的で効率的な事業実施を検討していきたい

福岡市長

飲食店や観光事業者をはじめ、地域経済や市民生活に大きな影響が及んでおり、国の交付金等も活用しながら、ワクチン接種を含めた感染拡大の防止と併せて、市民・中小事業者の皆様の支援に継続的に取り組んでいきたいと考えている。

国では、補正予算に新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金の拡充が盛り込まれている。今後、その内容や具体的な交付限度額が示されることとなつていくので、効果的で効率的な事業実施を検討していきたい。

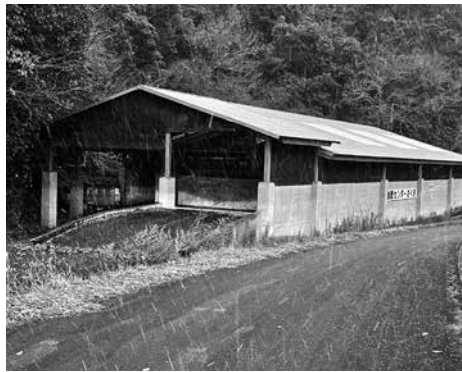
質問2
堆肥施用補助金を増額すべきでは

酪農業等を取り巻く環境は、新型コロナウイルスウィルス感染症の影響もあり生乳消費の減少、飼料価格の高騰、子牛価格の低迷、燃料費の高騰などで悪化している。そのような中で、堆肥の販売が経営の助けになる。施用拡大のため、消費者の購入補助金の増額と施用促進について所見を伺う。

答弁2
今後も堆肥の利用促進に取り組んでいきたいと考えている

中廣産業振興部長

現状では、堆肥購入促進事業補助金の増額は考えていないが、J・Aや県など関係機関と連携し、堆肥の施用による資源循環型農業への理解、取組を深めていただく研修会等を実施するなど、今後も堆肥の利用促進に取り組んでいきたいと考えている。



作木堆肥センター

質問1
世界人権宣言70周年・SDGsの取組は進んだか

宣言から5年間の基本的な人権の権利拡大は進んでいるか次の視点で質問する。まず市民への周知、ジェンダー平等・パートナーシップ制度実施の取組は進んだか。ハラスメント撤廃や、LGBTQに配慮した学校の制服、生活困窮者への支援策やベシックインカム制度の取組について伺う。

答弁1
啓発活動が非常に重要になる

中原地域振興部長

市民誰もが人権尊重の理念について理解を深め、互いに認め合い、共に生きるひとつづくり、まちづくりをめざし、あらゆる場において、創意工夫しながら人権教育・啓発を推進していくこととしている。



地域振興部が中心となり、人権課題に応じた専門・関連部局と引き続き連携を図りながら、人権啓発の推進に取り組んでいく。ジェンダー平等の取組の推進も含めて、男女共同参画や人権啓発を推進していくに当たり、啓発活動というところが非常に重要になると考えている。パートナーシップ宣誓制度については、「広島広域都市圏」への加入を機に、制度の相互利用に関する取組に本市も参画し、広島市などの取組を参考に制度のあり方を検討している。

制服も生徒指導規程という決まりの1環として設定している。大事なことは子どもたちが正しい理解をした上で、自分たちの問題であると主体的に考える場面を経て、変えることが大事である。

ベシックインカムは税金制度や年金制度、給与、社会保障、医療保険等トータル的な制度設計に関わるもので、国全体で議論をされるべきものと考えている。

質問2
河内保育所は存続させるべきでは

少人数保育には多くのメリットがある。子どもたちが半日以上生活する場所ので、いかに過ごしやすいか、ゆとり・丁寧・栄養バランスなど子どもたちがどんなに伸びる条件が揃っている。是非存続すべきだが所見を伺う。

答弁2
引き続き、地域の皆さんと対話をしていきたい

福岡市長

総合的に捉えて、本市としては一定程度の人数の中での保育の推進を基本としている。引き続き、地域の皆さんと対話をしていきたいと考えている。





新田 真一
会派 未来
動画

質問1 市内就職した高校卒業生へ支援を

地元の高校の卒業生が二次市内の企業へ就職するための就労支援策と、就職後も市と若者、若者同士のつながりなどを創造していくことが人口減少への歯止め策に繋がると考えるが、市の見解を伺う。



三次工業団地



地元高校生への就職斡旋を

答弁1 三次に定着してもらつことを継続して取り組みたい

中廣産業振興部長
新卒高校生の就職に関しては、市内企業への訪問時に来年度の採用計画等を伺い、計画がある場合には地元高校生を採用をすることも企業へお願いしている。また、県内の大学等に企業ガイドブック等を持って訪問し、三次の企業のPR、三次への就職といった

活動も行っている。こういった活動を続けながら、三次に定着してもらつことを継続して取り組んでいきたい。

質問2 小中一貫教育の今後をどう考えているのか

小中一貫教育が始まり10年が経過したがその成果・課題を問う。一体型の一貫校は1校だが、今後より地域との結びつきを強め教育を進めるために、小中一体型の学校の拡大は必要と考えるのか教育委員会の見解を伺う。

答弁2 小中一貫教育を充実させていくことは、これまでどおり進めたい

追田教育長
同じ中学校区内の小中学校が教育目標やめざす子ども像を共有し、小中学校がつながりをもって系統的な教育を行うとともに、学校、保護者、地域住民との協働により子どもたちに係わる事ができるようになったことを成果と捉えている。

今後さらに、幼稚園や保育所、高等学校などとの「縦のつながり」や、学校、家庭、地域が協働する「横のつながり」を強化することが課題だ。

小中一体型の学校を増やすかどうかについては、学校施設の老朽化の診断や、改築等の必要性、グラウンドを含めた敷地の確保等施設の維持管理、更新に係る中長期的な経費や財源の見込みなどについて、関係課とも十分に協議を重ねながら慎重に検討をする必要があると考えている。



保 治
やす かね おきむ
清 友 会
動画

質問1 人獣共通感染症対策とまちづくりは

ここ20年間にSARS、MARS、新型コロナウイルス感染症の様々な動物を媒介する新型感染症が発生している。里山の荒廃化が進んで「緩衝地帯」が狭くなっていることから、野生動物と人間の距離が縮まり感染リスクが高まってきている。「まちづくり」の観点からの対策を伺う。



緩衝地帯が狭くなっている

答弁1 様々な情報をいただく中で抜本的な対策を追求していきたい

福岡市長
被害防止対策につなげるため、集落ぐるみで自らの地域を再点検しながら、鳥獣のひそみ場所の環境改善など

の取組等を行っている地域もある。また、地域によっては、中山間地域等直接支払制度などを活用して、水田と山林の境界周辺を整備するといった活動も集落で行われている。こうした活動が里山の保全につながると考えているが、行政や地域、個人も自然環境や鳥獣対策について自分事として捉え、今後、継続した活動につながることを鳥獣被害の軽減に結びつくと考えている。引き続き、地域や市民、議会の皆さんと様々な情報をいただく中で抜本的な対策を追求していきたい。

質問2 通級指導教室の現状と今後の取組について伺う

八次・十日市小学校で実施され、巡回指導も実施されていると聞く。今年からは中学校でも取り組まれ、三次市発達支援センターでも就学相談に幅が広がった声を聞いている。今後とも推進するべきではないか。

答弁2 教育委員会としても各学校に指導、助言を行っていく

追田教育長
通級指導はニーズが高まってきており、来年度も新規に通級指導を始める学校も数校予定をしている。これまでと同様に本人や保護者へ目的を明確にして実施するとともに、通級指導で効果がある指導方法を通常学級でも取り入れて、より通級指導の効果が高まるように教育委員会としても各学校に指導、助言を行っていく。





質問1
市立三次中央病院の今後の医療体制は

広島県地域医療構想による必要病床数は現在より約3,000床過剰だとされている。備北二次保健医療圏でも調整が必要とされるが、今後市立三次中央病院における病床数や感染症対策を踏まえた体制等、新たに見直していく必要があるのではないかと。

答弁1
速やかに対応できるような病床確保を継続していきたい

片岡市民病院部事務部長
従来から感染症対応として陰圧機能を持つ部屋を1室準備していた。コロナ感染の拡大においては隣接病棟との間に仕切りを設け、クリーンパーテーションを増設し、専用病床とした個室に設置することで感染症対策を行ってきた。引き続きこのような形で感染症病床の設置を継続していきたい。

病床数についても、国、県も病床確保が公立病院には強く求められているので、現在の状況を維持しながら拡大時に速やかに対応できるような病床確保を継続していきたい。

質問2
森林環境譲与税の活用について
分かりやすい公表を

令和元年度から譲与が開始された森林環境譲与税の活用について、使途の公表が法律で定められている。本市においてもホームページ上で報告されているが、充当事業内容について詳しく記載されていない。市民に分かりやすく公表すべきでは。

答弁2
工夫をしていきたいと考えている

中廣産業振興部長
現在、実施状況をホームページで公表しているが、公表や内容の表記の仕方については、工夫をしていく必要があると考えており、他の事例も参考にしながら、より分かりやすい方法で皆さんにこの事業を知っていただきたいと考えている。



公共施設等周辺森林整備
甲奴町内通学路支障木伐採予定現場



質問1
農家と働き手をつなぐアプリ導入の考えは

農家の農繁期の時など、人手不足に対して働き手を確保するスマートフォンアプリを通じた農作業アルバイトが全国で広まっている。農家はアプリを通して、必要な時期に働き手を確保できる。このようなアプリ導入の考えはないのか。

答弁1
人材の確保に向けた取組を進めていくということで研究をしていきたい

福岡市長
マッチングアプリ等を活用し、繁忙期を迎える農家の皆さんの人材確保に



農家と働き手をつなぐアプリ導入を

少しでもつながればと考えている。引き続き、JAをはじめ関係機関と連携し、人材の確保に向けた取組を進めていきたいと考えている。

質問2
医療的ケア児保育支援事業の取組は

医療的ケア児支援法が令和3年の6月に成立し、9月から施行されている。国や自治体の医療的ケア児の支援を「努力義務」から「責務」として明記された。医療的ケア児保育支援事業が、令和4年度から実施されるが、その事業内容について伺う。

答弁2
医療的ケア児の地域生活支援の向上を図ろうとするものである

松長子育て支援部長
本事業では保育所等において医療的ケア児の受け入れを可能にするための体制を整備し、医療的ケア児の地域生活支援の向上を図ろうとするものだ。現在、医療的ケア児の受け入れ等に関するガイドラインを策定中で、受入体制が整えば令和4年度中に開始予定である。開設保育所は、立地等の理由から酒屋保育所を考えている。

※医療的ケア児：人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引等の医療的ケアが日常的に必要な子どもたち。



議長の定例会見を実施しました

定例会での審議等の総括、議会日程等を広く市民の皆様にお伝えするため、定例会最終日に議長の定例記者会見を行いました。

1 令和3年12月定例会の総括

- 子育て世帯への臨時特別給付金に係る補正予算
- 議員定数等調査特別委員会中間報告

2 市議会アンケート

- 別紙(自由記述を含めた全結果はホームページに掲載)



議員研修会を実施しました



三次市議会では、11月18日に議員研修会を開催しました。この研修会は議会基本条例第15条の規定により、議員の政策形成及び立案能力の向上等を図るために開催しています。

講師にフリーアナウンサー／イメージコンサルタントの徳永真紀さんを迎え、「伝わるコミュニケーションの追求 伝わるための『話し方』」をテーマに講演していただきました。「アナウンサー的 伝わる『話し方』を取り入れる！」ことを目指すゴールとして、伝わるための「話し方」とは「伝える＝相手の事を考えること」ということを学びました。12月定例会ではそれを念頭に発言するように徳永さんから宿題が出ましたが、議員の質疑で実践できていましたでしょうか。

市民のみなさんからの感想をお待ちしています。

(感想の宛先は16ページ)



講師の徳永真紀さん



実際に発声練習しました



議会のうごき

2021(令和3)年11月1日
2022(令和4)年1月31日

11月

- 4日 議会運営委員会
- 10日 議員定数等調査特別委員会
- 15日 高校生との意見交換会(日彰館高校)
- 17日 教育民生常任委員会
- 18日 三次市議会議員研修会
- 19日 議員定数等調査特別委員会
- 22日 議会運営委員会、全議員協議会
- 24日 市議会トピックス出演(産業建設常任委員会)
- 29日 高校生との意見交換会(三次高校)

12月

- 2日 議会運営委員会
- 3日 12月定例会本会議、全議員協議会
- 6日 広報広聴常任委員会
- 7日 12月定例会本会議(一般質問)
- 8日 12月定例会本会議(一般質問)
- 9日 議員定数等調査特別委員会
- 10日 産業建設常任委員会
- 10日 総務常任委員会
- 13日 教育民生常任委員会
- 14日 議員定数等調査特別委員会
- 15日 予算決算常任委員会、議会運営委員会
- 17日 議会運営委員会、12月定例会本会議
- 22日 議会運営委員会
- 市議会トピックス出演(総務常任委員会)

1月

- 6日 会派代表者会議
- 11日 議員定数等調査特別委員会
- 18日 議員定数等調査特別委員会
- 20日 広報広聴常任委員会
- 25日 議会運営委員会、広報広聴常任委員会
- 27日 議員定数等調査特別委員会

行政視察受入状況
11月16日 佐賀県武雄市(議会基本条例、市議会トピックスについて)

「あっちこっち三次」市議会トピックスのコーナーに出演中

三次市議会では、三次ケーブルビジョンで放送している「あっちこっち三次」市議会トピックスのコーナーに毎月1回出演しています。毎回各常任委員会等から2人出演し、取組等を中心に議会活動を市民のみなさんにお知らせします。

スタジオから生放送で議会情報をお届けしますので、ぜひご覧ください。

チャンネル：111ch

番組名：あっちこっち三次(市議会トピックスのコーナー)

放送時間：17時30分～(生放送)、再放送あり

放送日：2月16日(水)(放送日は予定です。)

出演予定：広報広聴常任委員会

詳細はこちら



※放送日、出演予定等に変更になる場合があります。

※番組内容や放送に関することは三次ケーブルビジョンへお問い合わせください。

株式会社三次ケーブルビジョン

TEL:0824-65-2211

FAX:0824-65-0066



スマホやパソコンでも

(((議会配信中!)))



■ 議会中継・録画配信

開会日は中継を配信! 会議後には録画もアップしています。

■ アプリ マチイロ

みよし市議会だよりがアプリで読めます。ぜひご利用ください。

※アプリ利用料は無料ですが、情報の受信には通信料が必要となります。

運営：株式会社ジチタイワークス



iOS



Android

三次市議会 インターネット配信 検索



インターネット配信ページ





きりこちゃん
三次観光イメージキャラクター

今回の定例会は
2月25日(金)に
開会する予定です。

請願・陳情の提出は、2月14日(月)正午まで

陳情・請願 市政についての意見や要望を直接市議会に提出すること。
議員の紹介のあるものを請願と言います。

第6回

傍聴者に聞いた! 「傍聴ってどうだったのか!!!」

傍聴のきっかけは何ですか?



保実委員



H. F.さん

要望等している議員さんにお礼を兼ねて来ました。年に1回は来るようにしているんです。

傍聴の感想を教えてください!



保実委員



H. F.さん

真摯に質疑応答しているのでよかったです。

いつも傍聴ありがとうございます。
引き続き頑張りたいと思います!



保実委員



傍聴案内動画...

議会だより第70号編集の際に、「広報広聴常任委員が案内する傍聴席」を三次ケーブルビジョンに取材してもらいました。この動画が12月定例会の放送前に流れていた事に気づきましたか??

この動画は3月定例会前にも放送されるかもしれせん!

ぜひご覧いただき、傍聴してみませんか。



インタビューと議会だよりへの掲載を快諾していただいたみなさま、ありがとうございました。

三次市議会では、傍聴者の間隔を空けるなど、感染症対策を実施して傍聴してもらえるようにしています。ケーブルテレビでの放送やインターネット配信も実施していますので、そちらもぜひご覧ください。

お問い合わせは 議会事務局へ

TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110 Eメールアドレス gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp

あとがき

長引く新型コロナウイルス感染症の影響で、市民生活にも大きな影響が及び、なかなか先行きが見えない状況が続いています。三次市議会でも、これまで議会報告会の中止や議会傍聴人数の制限など議会活動も状況を見ながらの判断を行わざるを得ず、市民の皆さんとの接点を持ちにくい状況です。そんな中でも、昨年、県立三次高校と県立日彰館高校で高校生との意見交換会を無事実施することができ、三次の未来を担う若者と三次の未来や議会についてざっくばらんに意見交換することができました。

若者の意見をしっかりと受け止め、三次の未来を一緒に考えていくよう、多くの皆さんに読んでいただける議会だよりの紙面の工夫や、デジタルでの取組など、コロナ禍でも議会の様子を伝え、市民の皆さんの声が届く工夫を続けていきたいと思っています。

(徳岡真紀)

注目スポット



「美波羅川千本桜」(三和町敷名)

国道375号線三次市有原町から三和町に入ると、目の前に桜並木が広がります。千本桜は美波羅川沿いに約6.8Kmにわたり平成元年に植栽されました。現在は「桜を育てる会」が中心となり敷名地域全体で管理されています。桜並木の散策は心を豊かにします。

(横光春市)